

第6回アジアソフトテニス選手権大会 日本代表選手団決定！

7月1日、(財)日本ソフトテニス連盟は10月28日から11月2日にわたって韓国・聞慶市で開催される「第6回アジアソフトテニス選手権大会」の日本代表選手団を以下のように決定しました。

なお、今後の合宿は9月11日～16日に広島市中央庭球場、10月2日～6日に韓国・聞慶市で行われ、10月24日に日本を出発する予定です。



アジア選手権日本代表男子選手団



アジア選手権日本代表女子選手団

第6回アジアソフトテニス選手権大会日本代表選手団

役職	氏名	所属	出身校	備考
団長	神崎 公宏	三重高等学校	早稲田大学	
庶務	橋本 茂樹	ナガセケンコー	東洋大学	
男子監督	斉藤 広宣	松戸市役所	明治大学	
女子監督	中本 裕二	NTT西日本－中国	日本体育大学	
男子コーチ	上松 明裕	岡山市役所	日本大学	
女子コーチ	若梅 明彦	大網高等学校	中京大学	
男子トレーナー	川上 晃司	スポーツインテリジェンス	天理大学	
女子トレーナー	高川 亜紀	日域整形外科クリニック	沼田高等学校	
男子選手	中堀 成生	NTT西日本－中国	中央大学	日本代表予選会優勝
男子選手	高川 経生	NTT西日本－中国	日本体育大学	日本代表予選会優勝
男子選手	篠原 秀典	日本体育大学	日本体育大学	日本ソフトテニス連盟推薦
男子選手	小林 幸司	ミズノ	日本体育大学	日本ソフトテニス連盟推薦
男子選手	菅野 創世	川口市役所	明治大学	日本ソフトテニス連盟推薦
男子選手	柴田 章平	同志社大学	岡山理科大学附属高等学校	日本ソフトテニス連盟推薦
女子選手	上原 絵里	ナガセケンコー	上尾高等学校	日本代表予選会優勝
女子選手	平田 清乃	ナガセケンコー	東京女子体育大学	日本代表予選会優勝
女子選手	杉本 瞳	東芝姫路工場	就実高等学校	日本ソフトテニス連盟推薦
女子選手	佐々木 舞	NTT西日本－中国	札幌龍谷学園高等学校	日本ソフトテニス連盟推薦
女子選手	堀越 敦子	NTT西日本－中国	広島女子商業高等学校	日本ソフトテニス連盟推薦
女子選手	大庭 彩加	NTT西日本－中国	就実高等学校	日本ソフトテニス連盟推薦

平成19年度事業報告(19年4月～20年3月)

1. 選手強化育成に関する事業

- (1) ナショナルチームの強化合宿を男女各6回の実施
- (2) 全日本アンダーチーム(U-21、U-18、U-14)の強化合宿を男女各2回の実施
- (3) 強化スタッフを、世界選手権大会予選会を初めとする各種大会に派遣
- (4) 競技者育成プログラムの推進事業
 - ① Step1～Step2を、各支部毎に開催
 - ② Step3(U-14・U-18/男・女)を8ブロック毎に開催し、選手指導者計1,398名が参加して開催
 - ③ Step4「全日本U-14・18・21選考会及び強化練習会兼第2回ソフトテニスジュニアジャパンカップ」を宮崎市で開催

2. 指導者養成に関する事業

- (1) 各支部より小学生・中学生・高校生指導者の代表各1名が東京グリーンパレスに一堂に会し、全国指導者研修会(分科会・全体会)を実施
- (2) (財)日本体育協会公認コーチ養成専門科目講習会(前期1泊2日・後期2泊3日)を実施
- (3) 指導者バンクの整備
- (4) 地域スポーツ指導者養成事業
 - ア 指導員養成講習会専門科目開催事業を9支部が実施

3. 地域グループ育成に関する事業

各支部に対し会員登録料(一般の20%、小学生の50%、中学生の20%、高校生の10%、高専の10%)を還元し、地域クラブ・ジュニアクラブの育成等の充実を図った。
また、各支部に対し中学生大会、レディース大会、ソフトテニスの日、指導者バンクの補助を行った。

4. 国内競技会に関する事業(主催共催大会の実施)

5. 地域における競技会に関する補助事業

9地区選手権大会、9地区高等学校選抜大会、10地区中学校選手権大会、壮年東西対抗大会、超壮年東西対抗大会、全日本学生同好会大会の開催に対して補助を行った。

6. 公認審判員制度に関する事業

- (1) マスターレフェリー 37名、マスターアンパイヤー 38名を認定
- (2) 公認1級審判員新規86名、更新181名の認定
- (3) 公認2級審判員新規5,487名、更新4,834名、高校生19,275名の認定
- (4) 公認ジュニア審判員23,453名の認定
- (5) 1級審判員の検定会2会場と研修会9会場の実施
- (6) ソフトテニスハンドブックを(24,333部)、採点票(6,441冊)、オーダー票(1,108冊)、イエローカード、他(32枚)等の販売とジュニア審判マニュアル(23,453冊)の頒布

7. 技術等級制度に関する事業

- (1) 名誉指導員5名を認定
- (2) 技術等級EX78名、S-EX13名、SP216名、S-SP10名、1級533名、2級1,231名、3級806名、4級3,357名の認定

8. 用具・施設の公認に関する事業

- (1) ラケットの証紙418, 290枚 ネット証布3, 200枚を頒布
- (2) 7社31種類のラケットを公認

9. 広報に関する事業

- (1) 機関誌「ソフトテニス」を毎月1回発行(支部購読1,516名個人購読420名)
- (2) 第62回全日本選手権大会(浜松市)のNHK教育テレビで、全国放送の実施
- (3) 平成19年度大会記録集を作成し、支部・報道機関等へ配布
- (4) インターネットのホームページを継続
- (5) 日本連盟及び各支部にて動画配信の実施「各種大会等の動画をインターネット上に配信」

10. 各種表彰の実施

11. 国際競技大会への代表選手団等の派遣

- (1) 第6回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会(中国・浙江台州スポーツセンター)
- (2) 第15回日・韓・中ジュニア交流競技会(中国・桂林市)
- (3) 第13回世界ソフトテニス選手権大会(大韓民国・安城市)
- (4) 第5回中山杯国際ソフトテニス大会(中華台北・台中市)

12. 国際普及の促進に関する事業

- (1) 海外長期滞在指導者の派遣
- (2) スペインのテニスクラブと、スペインを初めとした世界各地へのソフトテニス普及展開に関する会談の実施
- (3) ヨーロッパ(ドイツ、スペイン、オランダ)への普及促進として、指導者と選手の派遣
- (4) アメリカ(カリフォルニア州)へ指導者と選手の派遣
- (5) ベルギー共和国の第1回ソフトテニスセミナーへ指導者の派遣
- (6) モルディブへ指導者の派遣
- (7) ヨーロッパ(ドイツ・ハンガリー)へのジュニア選手の派遣
- (8) ベルギー共和国の第2回ソフトテニスセミナーへ指導者と選手の派遣
- (9) 用具・用品の支援
 - 22カ国に対し、ボール=298打、ラケット=343本、ポンプ=60個

13. 国際大会の開催促進に関する事業

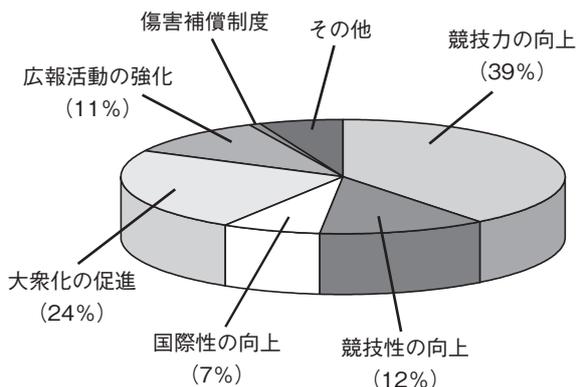
- (1) 2007年第13回世界選手権大会の準備及び支援活動の実施
- (2) 2010年の中国広州でのアジア競技大会の競技団体の広州訪問第1号として、ソフトテニス競技実施決定のお礼とテニスコート等の会場視察を実施

会員登録料に関する使途概要(平成19年度)

単位千円

競技力の向上	97,614
競技性の向上	30,122
国際性の向上	17,717
大衆化の促進	58,684
広報活動の強化	26,213
傷害補償制度	2,240
その他	14,872
合計	247,462

使途概要



会員登録料に関する用途概要 (平成19年度)

会員登録料の用途は主として

- 1 競技力の向上「競技者育成プログラム」
- 2 競技性の向上
- 3 国際性の向上
- 4 大衆化の促進
- 5 広報活動の強化

等々の事業拡充のために用いられていますが、その他として、学連・高体連への還元、会員の傷害補償金および制度運営のための事務費にも充てられています。

具体的な金額は一般会計や特別会計のなかで従来からの支出科目に組込まれているため、かならずしも明確な仕訳になっていませんが、平成19年度の登録料を原資にした用途概要は概ね次のとおりでした。

(競技力の向上 97,614千円)

- ・選手強化費 ————— 38,411千円
(ナショナルチーム、全日本Uチーム合宿、国際大会派遣)
- ・競技者育成プログラム推進費 ————— 52,820千円
(ステップ1～4、支部強化推進)
- ・公認コーチ養成専門科目講習会関係費 ————— 4,315千円
- ・医科学研究費 ————— 2,068千円

(競技性の向上 30,122千円)

- ・大会開催地・地域大会への補助、大会表彰 ——— 18,149千円
- ・全日本小学生大会・全国小学生大会・都道府県中学生大会 — 11,973千円

(国際性の向上 17,717千円)

- ・国際大会派遣費 ————— 1,582千円
- ・国際普及用用具用品購入費 ————— 2,015千円
- ・国際普及指導費 ————— 14,120千円

(大衆化の促進 58,684千円)

- ・地域グループ育成費(各支部へ一般登録料の20%還元) — 10,756千円
- ・ジュニア育成費 ————— 33,201千円
〔各支部を通じて登録料の還元(小学生50%、中学生20%、高校生・高専10%)〕
- ・指導者バンクの補助費 ————— 1,950千円
- ・ソフトテニスの日、支部レディース大会 ————— 6,950千円
- ・審判、指導者育成費(小・中・高生指導者研修会) — 5,827千円

(広報活動の強化 26,213千円)

- ・テレビ放映関係費(番組作成費) ————— 6,752千円
NHK全日本選手権大会の放映
- ・ポスター等作成費 ————— 805千円
(ソフトテニスの日、全日本選手権大会)
- ・インターネット関係費 ————— 16,969千円
(ホームページ管理、システム管理)
- ・会員報作成費 ————— 1,687千円

(傷害補償制度 2,240千円)

- ・傷害補償給付金等 ————— 2,240千円

(その他 14,872千円)

- ・学連への還元(大学生登録料の50%) ————— 2,192千円
- ・高体連への還元(高校生登録料の10%) ————— 4,960千円
- ・中体連への還元 ————— 450千円
- ・会員登録事務費 ————— 7,270千円

平成19年度一般会計 収支決算報告書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(収入の部)		(千円)	(支出の部)		(千円)
1. 分担金収入		287,642	1. 事業費		225,574
1. 支部分担金		7,500	1. 指導要領等作成費		0
2. 会員登録料		247,462	2. 審判検定会・研修会		1,286
3. 維持会費		32,680	3. 地域グループ育成費		54,267
2. 事業収入		178,881	4. 大会開催地関係費		48,136
1. 大会参加料		23,655	5. 地域大会補助費		4,300
2. 出版物収入		21,443	6. 大会役員関係費		4,480
3. 用具検定費		27,091	7. その他大会関係費		819
4. 公認審判収入		86,785	8. 公認審判関係費		53,769
5. 技術等級認定料		11,304	9. 技術等級関係費		6,617
6. 機関誌関係		8,603	10. 用具施設証作成費		1,218
3. 補助金収入		300	11. 広報活動費		42,138
4. 協賛金寄付金収入		11,750	12. 表彰費		8,544
1. 協賛金		11,250	2. 管理費		88,785
2. 寄付金		500	1. 人件費		38,686
5. 基本財産運用収入		1,156	2. 会議費		11,821
1. 基本財産運用収入		1,156	3. 一般管理費		30,676
6. 雑収入		4,211	4. 運営費補助		7,602
1. 預金利息		79	3. 加盟費		891
2. 広告料		1,330	4. 繰入金支出		138,223
3. その他収入		2,802	1. 繰入金支出		138,223
7. 繰入金収入		1,455	5. 予備費		0
1. 募金会計		1,455	当期支出合計		453,473
当期収入合計		485,395	当期収支差額		31,922
前期繰越収支差額		59,427	次期繰越収支差額		91,349
収入合計		544,822			

平成19年度助成事業特別会計 収支決算報告書 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(収入の部)		(千円)	(支出の部)		(千円)
1. 日本体育協会		5,431	1. 競技力向上費		140,935
2. 日本オリンピック委員会		11,897	1. 強化合宿		40,084
3. スポーツ振興基金		1,500	2. 国際大会派遣費		6,738
4. くじ助成		812	3. 競技者育成プログラム推進費		87,875
5. その他の助成		600	4. 大会視察費		1,974
6. 大会参加料		3,336	5. 医科学研究費		2,068
7. 雑収入		183	6. トータルスポーツクリニック		1,525
8. 繰入金収入		133,238	7. トレーニング関係費		671
9. 協賛金収入		1,500	2. 指導者育成事業費		8,856
当期収入合計		158,497	1. 公認コーチ養成講習会		4,315
前期繰越収支差額		0	2. 上級コーチ養成講習会		0
収入合計		158,497	3. 指導者研修会		4,541
			3. 大会開催等関係費		8,706
			1. 国体役員派遣費		1,699
			2. 日本スポーツマスターズ		3,526
			3. 全日本選手権大会		3,481
			当期支出合計		158,497
			当期収支差額		0
			次期繰越収支差額		0

平成19年度傷害補償制度実績

本連盟独自の傷害補償制度の19年度給付状況と主な傷害内容は、次のとおりでした。

事故件数 63件

支払給付金 2,202千円(1,694千円)

()内は平成18年度実績

傷害の内容	一般	大学生	高専	高校生	中学生	小学生	計
アキレス腱断裂	11	1					12
骨折	8		1	4	3	3	19
靭帯損傷	6			2	1		9
肉離れ	7						7
その他	11				2	3	16
計	43	1	1	6	6	6	63

充分なウォーミングアップで事故を防止し、ソフトテニスを楽しんでください。万一傷害に遭われた場合は、本連盟にお問合わせください。なお、補償内容・給付金請求の手続きについては日本ソフトテニス連盟ホームページの「日本連盟情報」に記載されております。

会員登録者数の実績

(数値：名)

種 別	一 般	小 学 生	中 学 生	高 校 生	高 専	大 学 生	合 計
平成19年度	54,239	17,415	269,939	91,165	385	7,543	440,686
平成18年度	53,787	17,742	240,872	93,199	373	7,567	413,540
平成17年度	52,422	18,084	213,181	96,335	344	7,266	387,632
平成16年度	49,616	19,410	369,672	94,305	115	7,153	540,271
平成15年度	49,417	16,739	370,521	90,116	216	6,654	533,663
平成14年度	49,083	16,654	370,570	87,409	247	6,255	530,218

平成19年度 会員登録数

支 部 名	一 般		小 学 生		中 学 生		高 校 生		高 専		大 学 生		合 計	
	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数	団体数	会員数
北 海 道	67	2,675	14	596	37	8,007	24	3,842	1	71			143	15,191
青 森	50	666	13	239	42	3,979	42	1,073					147	5,957
岩 手	60	1,570	28	501	146	5,330	83	2,487	1	28			318	9,916
宮 城	72	856	19	342	172	2,809	87	2,552	2	35		14	352	6,608
秋 田	34	752	11	338	81	3,037	51	1,471		15			177	5,613
山 形	35	623	18	448	74	3,315	48	1,462		1			175	5,849
福 島	71	1,051	30	655	171	7,704	82	2,137					354	11,547
茨 城	62	1,037	14	409	193	9,632	82	2,158		9			351	13,245
栃 木	46	679	13	390	130	6,061	52	1,355		4		21	241	8,510
群 馬	51	1,031	18	574	165	7,837	55	1,524	1	15			290	10,981
埼 玉	247	4,581	33	1,207	348	15,341	130	4,613				10	758	25,752
千 葉	120	2,422	19	533	340	15,316	87	2,262				1	566	20,534
東 京	140	3,127	21	494	345	9,939	194	4,371					700	17,931
神 奈 川	131	1,519	11	357	252	12,118	139	3,096					533	17,090
山 梨	53	651	12	310	67	2,165	34	1,000					166	4,126
新 潟	69	1,139	21	537	145	4,786	58	1,335					293	7,797
長 野	22	952	17	583	113	4,342	80	1,843					232	7,720
富 山	22	413	15	472	65	2,543	33	951					135	4,379
石 川	57	745	18	421	75	3,456	43	1,132	2	16			195	5,770
福 井	39	629	5	150	36	1,498	19	621					99	2,898
静 岡	127	1,687	17	572	318	14,230	93	1,939					555	18,428
愛 知	140	2,912	19	661	322	19,272	150	5,985					631	28,830
三 重	45	660	15	353	157	7,271	51	1,434	1	9		1	269	9,728
岐 阜	58	1,031	26	688	261	7,632	50	1,872					395	11,223
滋 賀	29	631	12	454	38	795	38	1,545					117	3,425
京 都	78	825	18	386	133	4,217	59	1,623					288	7,051
大 阪	98	2,039	17	330	263	2,610	205	3,556					583	8,535
兵 庫	78	1,559	12	145	299	16,501	160	5,603					549	23,808
奈 良	33	934	9	173	64	2,638	27	1,032					133	4,777
和 歌 山	55	709	14	235	109	4,063	37	1,167					215	6,174
鳥 取	25	423	18	296	29	948	26	625					98	2,292
鳥 根	50	508	9	228	51	2,042	41	1,022					151	3,800
岡 山	73	658	13	238	113	4,078	68	2,388					267	7,362
広 島	110	1,515	22	304	110	3,050	105	3,004					347	7,873
山 口	71	1,147	9	330	117	4,782	64	1,796	1	11			262	8,066
徳 島	24	523	9	80	102	2,526	33	647	1	31			169	3,807
香 川	29	397	6	151	57	2,629	29	730	1	2			122	3,909
愛 媛	36	660	10	241	138	4,764	65	1,535				2	249	7,202
高 知	31	419	10	134	47	1,487	28	527					116	2,567
福 岡	68	1,499	15	205	165	5,266	97	2,916	2	78		3	347	9,967
佐 賀	28	566	14	216	76	3,249	40	878					158	4,909
長 崎	46	1,102	9	197	165	6,494	105	2,418					325	10,211
熊 本	62	1,158	15	247	148	5,275	61	1,542	1	32			287	8,254
大 分	48	803	11	144	104	3,200	29	685				1	192	4,833
宮 崎	62	1,052	20	410	167	4,123	45	1,133					294	6,718
鹿 児 島	111	1,366	27	338	220	5,674	105	1,674		28			463	9,080
沖 縄	22	327	6	103	57	1,908	36	604					121	2,942
日本学連											521	7,490	521	7,490
日本連盟	1	11											1	11
合 計	3,086	54,239	732	17,415	6,827	269,939	3,270	91,165	14	385	521	7,543	14,450	440,686
昨 年 度	3,211	53,787	752	17,742	6,740	240,872	3,509	93,199	21	373	526	7,567	14,759	413,540

(平成20年3月31日現在)